

令和元年度中堅社協職員研修委員会主催事業

「経済環境の変化が社会福祉に及ぼす影響について考える」

▼趣 旨／

「セルフネグレクト」「制度の狭間」「ダブルケア」「8050問題」など、私たちが関わる地域には複雑な課題が山積しています。

一方、平成30年4月に施行された改正社会福祉法において、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念や自治体が包括的な支援体制づくりに努める旨が記載され、各地で多様な実践が展開されるなど、まさに国を挙げて地域福祉を推進しているような状況があります。

しかし、本来の地域福祉のあり方は、住民主体という言葉にもあるようにボトムアップ型であるはずですし、財政難を理由にトップダウンで地域福祉が進められるということへの違和感を覚えている社協職員も多くいるのではと思われます。

また、現実問題として、地域福祉を安定的に推進するための経費確保が末端自治体だけでは困難であることに加え、要となる地域においては人口減少・高齢化の影響（高齢労働者人口の増加等）から活動の担い手が圧倒的に不足している状況がある等、理念を実現していく上での課題も山積状態です。

上記だけを見ても、これからの問題は社会福祉の分野だけで考えていくべきことではなく、例えば「社会経済」との関連性を捉えながら、地域福祉のあり方を構築していく必要があるのではないかと考えます。

課題を解決していくためには多角的に社会を捉える力が必要とされることから、まずは社会福祉を取り囲む経済環境に目を向け概要理解に努めるとともに、社協職員としての資質向上を図ることを目的に今回の研修を開催いたします。

▼主 催／中堅社協職員研修委員会（福岡県地域福祉活動職員連絡会）

▼日 時／令和元年11月7日（木） 14:00～17:00（受付 13:30～）

▼会 場／クローバープラザ 西棟5階 セミナールーム A（福岡県春日市原町3丁目1番7号）

▼対 象／社協職員のうち、事前課題に取り組むことが可能な方

- ※1. 経験年数や年齢は問いません。
- ※2. 事前課題の内容は別添資料をご確認ください。
- ※3. 事前課題は研修当日に各自ご持参ください。

▼内 容／下記のとおり

①基調講演(60分)

演題：「人口減少化が進む地方自治体と福祉 ― 福祉の予算はどのように決まるのか」

講師：佐賀大学経済学部 教授 平部 康子 先生

②グループ・ディスカッション(40分)

テーマ：「私のまちは大丈夫？ ― 財政力指標と将来推計人口から考える」

講師：佐賀大学経済学部 教授 平部 康子 先生

③まとめと質疑応答(30分)

▼当日のタイムスケジュール(予定)

14:00	14:05		15:05	15:20	15:35		16:15		16:45	17:00
開 会		基調講演	質疑 応答	休憩	グループ・ ディスカッション		まとめ・ 質疑応答		事務連絡 ・閉会	

▼参加費／無料

▼申込期限／

別紙参加申込書に必要事項を記入いただき、令和元年11月5日(火)までに下記の申込先あて FAX でお申し込みください。

▼申込先／志免町社会福祉協議会 宿利 (FAX：092-936-9067)

▼その他／駐車場あり(※主催者による駐車場の確保はできません。)

▼問い合わせ先／香春町社会福祉協議会 建部

(TEL：0947-32-4616 / E-Mail：shakyo@town.kawara.fukuoka.jp)

【別紙】

「人口減少化が進む地方自治体と福祉—福祉の予算はどのように決まるのか」

佐賀大学 平部康子

【講義の趣旨】

わが国の総人口は2008年以降減少し続けていますが、人数や年齢層について大きな地域差があります。一般には、高齢者の人口が多いことは地方自治体にとって行政コストがかかり「不利」なように思われていますが、今後は（高齢者も含めて）地方自治体の人口が減少することそのものが地方自治体の財政にとって課題だとされています。

講義では、皆さんが支えている地域の福祉の将来像を考えるための基礎として、現在の地方自治体の福祉予算がどのように決まっているのかを学びます。

【事前課題】

私のまちは大丈夫？—自分のまちの「財政力指数」を調べてみよう。

財政力指数とは、地方自治体の財政が健全であるかどうかをチェックするための指標で、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担率、があります。

福岡県のHPから、自分の担当する自治体の財政力指数に関する資料を見つけて、印刷し、どのような特徴があるか確認しておいてください。グループワークの時に、それぞれ発表していただきます。

○資料の入手の方法

福岡県のHPから以下の順で「健全化判断比率の状況と推移」を開き、担当する自治体の資料（PDF）を見つけてください。

[トップページ](#) > [県政基本情報](#) > [市町村行財政](#) > [市町村財政](#)

> [健全化判断比率の状況と推移（平成25年度から29年度）](#)

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenzenka29.html>

*自治体によっては、自分のまちのHP（財政状況に関連するところ）や広報で公表し、なぜこのような数字なのか説明しているところもあります。

例：香春町「平成26年度 財政状況資料集」の「(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)」